

永田町新潮流 平沢勝栄

俺がやらねば



過日の衆議院選挙で自民党は圧勝した。

この選挙で自民党は、設立直後の希望の党や立憲民主党と戦ったが、私の場合には希望の党の候補者が相手だった。しかし、この候補者は、公示直前に出馬が決まったこともあってか、明らかに準備不足だった。

公示日の朝に、各陣営は公営掲示板にポスターを一齐に貼り出す。ところが、私の選挙区で希望の党の候補者は、その日の夕刻になっても多くの

箇所でもポスター掲示ができていなかった。

選挙中、政党は街に1000枚の大型ポスターの貼付が認められる。しかし、希望の党の大型ポスターは、希望の党の大型ポ

実際、今回の選挙で多くのことから「小池氏に失望した」という声を聞いた。都知事としての本務を十分に全うしないまま飛び回る小池氏に失望した人は多かったに違いない。

スターは一枚も見かけなかった。

小池百合子都知事は昨年7月の都知事選、そして今年7月の都議選において小池旋風により大勝した。恐らく希望の党の候補者は、組織選挙をこなしても小池旋風で勝てると思えただろう。しかし、今回はその小池頼みは完全な空

今回の選挙は政権選択選挙で、この点が都議選との決定的な違いだ。私は選挙戦で、日本は今、北朝鮮問題などの重要課題を抱えているが、こうした課題の解決を設立早々の政党に委ねることは

振りに終わった。それはなぜか。

小池氏は知事職にとどまったまま希望の党代表として各地を飛び回った。しかし、都知事の仕事は政党代表と兼務できるほど生易しいものではない。国民は小池氏に政党代表としてではなく、都知事としての活躍を期待したのである。

無理だと訴えたが、反応は上々だった。今の日本で国内外の懸案を処理しうる政党は残念ながら自民党だけである。民進党は分裂し、自民党の他に選択肢がなかったことも自民党大勝の

自民は圧勝におごりすぎ 謙虚さ必要

一因となった。皮肉な言い方だが、小池氏が自民党を救ったともいえよう。

ところで選挙中は、自民党に対して励ましと同時に厳しい意見もいたった。

今回の選挙で自民党は勝ったが、これは国民の自民党への白紙委任状では全くない。自民党は今回の結果におごることなく、反省すべきは反省し、改めるべきところは改める謙虚さを持つことが必要だ。

もしおごりや慢心が少しでもあれば、今度は大きなしっぺ返しを国民から受けることになるだろう。

(自民党衆議院議員)